

平成30年度特許調査実践研修 実施報告

平成31年4月

平成30年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では大阪工業大学と連携し、知的財産実務の経験が浅い企業等の知的財産担当者や特許事務所等のリーガルアシスタントなど、知的財産権制度の知識を有する者を対象とし、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる特許審査基準に基づいた特許性判断や、効率的な特許調査を的確に行うことができる人材の育成を目的に、特許調査実践研修を1回実施いたしました。

1. 研修の概要		
(1) 日程	8月22日～24日(3日間)	
(2) 開催地	大阪府大阪市	
(3) 申込人数	26名	
(4) 参加人数	29名(聴講生5名含む)	
(5) 講師	4名	
2. アンケート結果		
(1) 研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	17名	61%
・有意義であった	11名	39%
・あまり有意義ではなかった	0名	0%
・有意義ではなかった	0名	0%
・無回答	0名	—
(2) 主な意見・要望	<p>《特許審査基準判例研究》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許庁の審判長を務められ現在、知財研究科の大学院教授から受講でき、特許法と審査基準の両観点から理解を深めることができた。 ・進歩性をどのように判断するのか、明確に分かった ・新規性、進歩性の考え方、審査官の拒絶対応時のロジックの組立て方がわかった。 <p>《特許文献分類体系の概要／特許文献検索実務(座学)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インデックス検索法が理解できた。 ・FI、Fターム等を詳しく知る事が出来た。 ・J-PlatPatの検索方法を一から教えて頂いたため、基礎を再確認できた。 <p>《特許調査演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて自分でFIを検索してしぼり込む作業を行なったので、今後利用したい。 ・実際にJ-PlatPatを使用し、やり方を演習でき、今後どのようにすれば良いかを生かせると思う。 ・検索方法が良く分かり、実務について知れて良かった。 <p>《グループディスカッション・調査結果討論・模範解答解説》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社、知財担当者様と交流ができ、自分のやり方、レベルを把握できた。 ・特許検索方法について、他の組織の方と話す機会が持てた。 	
(3) アンケート回収率	28名	97%